

SIZSTAR'S STORY

004 -2/2-

ADULT ONLY







シズスタールが本来いた惑星
手長蜘蛛が展示されている会場にて









まともな思考もない
もはやただの
欲に溺れるだけの
生き物だ



強制テレポートした
シズスタールが
まさかあんな姿に
なっているとは...

シズスタールが
捕獲され取り調べを
受けている施設にて



ふむ、しかし
面白い結果が出ました



休暇を取ってこのような
モンスターに返り討ちに
されたのが他の部署に
隠蔽するぞ恥さらしだ



見るこの何度も絶頂する様を
常人ならとつくに
倒れてしまうところだが
どんな快楽にも耐えて
なお絶頂を繰り返す

しかも絶え間なく
このように体液を
吹き出しているのだが
この体液が問題だ

別の惑星の生物と
粘液を繰り返し交えた
せいでこの惑星では
見つかっていない
物質が生まれた

シズスタールには
この物質の生成に
役立つかもしれない



それからのシズスタイルに関して
試験的に公共の場にて展示し民衆に晒すことで
よりたくさんの方の体液を搾取する実験をする



民衆に晒された羞恥よりも
機械による刺激が思考を埋め尽くしているようで
もはや過去の戦士としての誇りも力もなく
体液を撒き散らす生き物になってしまった
民衆はそれを様々な表情で見つめていた
その体液がまさか医療などに使われているなど
知る由もないだろう

機械に固定して吸引による搾取も行った
特に体液を吹き出す箇所吸引器を取り付け固定
そのまま一気に刺激を与える



まともに喋れず鳴き声を出す彼女は
もはや獣のようだが間違いない
快楽を得て体液を生成している



永続的な快楽と強制的な絶頂
どちらも過度になれば生き地獄のはずだが
監視員は誰も彼女が苦しそうな表情を見たことがない
その無尽蔵な生命力にも注目すべきであろう





そして今日も彼女は他の惑星からきた
生物の中に収納されたのち…



場所を変え体液の性質が変わるか
実験を繰り返している
様々な器具や装置を製造しているので
今後の成果に期待する





彼女よりもポッドである生き物の方には
休息が必要だった
その際は彼女をポッドから取り外し

獣などの下等モンスターと交尾させる
到底考えられないことだがそれでも
彼女は快感を得て絶頂を繰り返す



彼女が最後に身につけていたという服と武器
もう体液でボロボロになり破損していたが
最後の持ち物として痙攣する彼女のそばに置いた
しかし、自分が戦士だったことも
戦うこともはや人であったことも思い出すことはないだろう



絶頂し体液を生成するのが彼女の仕事
もはや彼女にその必要はもうないのだから







シズスターは少しずる賢く楽がしたい
ケチってしまう癖がありそれが毎回裏目に出て
酷い目に遭うのをループしています。
最後にはいつも催淫氏雌堕ち(主に対Monster)
するのが定番です。
半分Monster娘的な要素もあるので
人間よりもMonster受けがいいらしいです。
面白い体位や顔も煮詰めていこうと思います。
次回もまた酷い目に遭うのでよろしくお願いします。



SIZSTAR'S STORY 004 -2/2-

しばこ/一家離散

2022/06/05/

sibaco_oi@icloud.com

インターネット上への無断転載、掲載または無断複製を禁じます

SIZSTAR'S STORY

004 -2/2-

ADULT ONLY

